

9月 やすらぎだより

令和4年9月号

お盆を過ぎて日が短くなったり、虫の鳴き声が聞こえたり少しずつ秋めいてきましたね。気温の変化が激しい時期になりますので、体調変化にはくれぐれもお気を付けください。

また、コロナウイルス感染者も高止まりをしています。利用者様はもちろんですが、ご家族などで体調に異変がある場合は早めに職員にお伝えいただくと幸いです。



★夏祭りの思い出★



8月22日（月）～24日（水）の期間で夏祭りをおこないました★

当日は職員によるフラダンスやくじ引きゲーム、金魚すくいゲームをおこないとても盛り上がりました！！

皆さん喜んでくださったようで職員もとても楽しかったです😊

敬老会を行います

9月15日（木）・16日（金）で開催します◎

ご長寿をお祝いし午後から職員による催し物を企画しておりますので、楽しみにしてください！

予防的 PCR 検査を実施しました

8月上旬にやすらぎの職員 23名を対象に予防的 PCR 検査を行いました。結果はすべて陰性でしたのでご報告いたします★

職員紹介（リハビリ担当）



私と一緒にリハビリしましょう!!

理学療法士の谷下です。今月より、本格的に個別機能訓練が始まります。理学療法士による身体状況の把握と個別性の高い運動メニューの作成・実施が可能です。それにより身体機能、日常生活動作維持が図れます。また、身体のこと以外でも在宅環境などの困りごとがあればご相談ください。リハビリを希望される方は、ケアマネージャーまたはデイサービスまでご連絡をお願いします。



栄養まめちしき ～同じ食べ物でも名前がちがう！？編～

・その1 季節で名前がちがう？おはぎとぼたもち



日本には、3月は春分・9月は秋分の日的前後三日間、計七日を「お彼岸」と呼び、春の彼岸には「ぼたもち」を、秋には「おはぎ」をお供えする風習があります。実はこの二つの餅菓子はもともと同じ食べ物でした。作り方も全く同じ、うるち米と餅米を混ぜて炊き、軽くつぶしたものを丸め、小豆やきな粉などをまぶしたものです。

春は牡丹の花の咲く季節だから「牡丹餅」から、「ぼた餅」。秋は萩の花の季節で「萩の餅」から、「おはぎ」という呼び方が広まったといわれています。

・その2 地域によって名前がちがう？今川焼



小麦粉・卵・砂糖で作った生地を円形の型で焼き、その中に小豆の餡などを入れて焼き上げたお菓子である今川焼。最初に販売したお店が、東京都にある今川と呼ばれた土地（当時）にあったことから、そう呼ばれるようになったともいわれています。

地方によっては、景気が良い呼び名だ！と広まった「大判焼」や、焼き方の特徴から「回転焼」とも呼ばれています。その他にもさまざまな呼び方があり、「御座候」と呼ぶ地域もあるようです。

★前月号のお断り★

前月号で蛇瓜の紹介をしましたが、試食については職員が消毒と使い捨て手袋などを使用し衛生管理をおこない実施しました。また、おやつは通常メニューで提供しておりますことを申し添えます。今後におきましても職員一同、レクリエーションを盛り上げてまいりますのでご理解の程よろしくお願いいたします。



お誕生日会

今月は男性2名女性4名がお誕生日を迎えられます。やすらぎの皆様でお祝いをして、ささやかなプレゼントとケーキをご用意いたします。



社会福祉法人山県市社会福祉協議会

山県市社協 デイサービスセンターやすらぎ

〒501-2259 山県市岩佐 1177-1

☎ (0581)52-2800 FAX (0581)52-2937